

令和3年度部局運営方針実績

生涯学習部

運営方針

生きがいを持っていきいきと創造的に暮らせる社会の実現

市民一人ひとりが生きがいを持って、いきいきと創造的に暮らせる社会を実現するために、市民がつながり、地域がつながる場をつくり、子どもの育ち、市民の学び、スポーツ、文化活動を支援します。

【重点施策とめざす方向】

生涯学習関連事業の推進

文化会館、市民交流センター、スポーツ施設等の生涯学習関連施設は、指定管理者を通じて効果的かつ効率的に管理運営し、各分野において様々な生涯学習関連事業を展開します。

特に、地域活性化に寄与するシティマラソン大会の企画開催や、公民館と小学校の複合化に向けた調査・研究を進めます。

また、市民交流センターの管理運営方法も含めたあり方について、検討します。



【実績】

目標どおり達成

文化会館、市民交流センター、スポーツ施設等の生涯学習関連施設は、指定管理者を通じて効果的かつ効率的に管理運営し、各分野において様々な生涯学習関連事業を展開しました。なお、市民交流センターについては、今後のあり方を検討するため、令和4年度から市が直営することとしました。

また、地域活性化に寄与するシティマラソン大会を開催するとともに、加賀田公民館と加賀田小学校の複合化に向けた調査及び機運醸成を進めました。

子どもを守り育む環境づくりの推進

待機児童を出さず、放課後児童会の安定的な運営を行うとともに、放課後子ども教室等の充実を図りながら、子どもたちの安全で安心な居場所の確保に努めます。

また、青少年健全育成関係団体やPTAなどの連携を進めながら、地域や家庭の教育力を高める取り組みを支援します。



ほぼ目標どおり達成

放課後児童会については、1,092名の児童を受け入れ、32クラス体制で運営し、待機児童を出さず運営するとともに、支援員の処遇改善に取り組みました。放課後子ども教室については、延べ68回、1,160人の参加となりました。

また、青少年健全育成関係団体やPTAなどの連携については、地域環境向上のための啓発活動の実施や街頭パトロールなどの協力を求め、多くの事業が中止になる中、地域や家庭の教育力を高める取り組みを支援しました。

歴史文化遺産の保護・活用の推進

令和元年度に策定した河内長野市文化財保存活用地域計画に基づいて、指定文化財の保存、継承のために補助事業の適正執行を図ります。

また、日本遺産関連事業（調査研究、普及啓発、情報発信）を推進することで、本市の魅力発掘、次世代を担う人材の育成、市外へ向けての情報発信を行います。

この他、市内の年中行事や伝統行事を調査・研究し、社会教育・学校教育の教材として活用できるよう河内長野版『歳時記』の編集を進めます。



目標どおり達成

天野山金剛寺の災害復旧工事及び大玄関の修繕工事、重要文化財岩湧寺多宝塔の保存修理等を実施しました。

また、日本遺産関連事業として「中世に出逢えるまち」及び「女人高野」の調査研究のほか、「女人高野」の講演会の実施やスタンプ帳、ガイドマニュアル作成など、本市の魅力発掘、次世代を担う人材の育成、市外へ向けての情報発信を実施しました。

この他、『歳時記』にかかる調査・研究については、コロナ禍の地域の伝統行事・祭りの中止等により現地調査は遅れましたが、郵送や聴き取り等による情報収集を実施し、現地調査の基礎資料としました。

図書館サービスの推進

第4次子ども読書活動推進計画を推進するとともに、ICTを活用した図書館サービス（電子書籍等）の充実、利用者に対応したサービスの充実、図書館資料を活用した行政支援、郷土資料の活用ほか、図書館サービスの充実を進めます。

また、英語村構想事業と連携した、英語多読資料の整備・普及に取り組めます。



目標どおり達成

第4次子ども読書活動推進計画を関係各課との連携のもと、計画的に推進しました。

令和2年9月に導入した電子書籍の充実・利用促進を図り、マルチメディアデジターなどアクセシブルな書籍等を活用した読書活動の推進を行いました。

郷土資料を活用した講座を、対面で開催するとともにYouTubeでの配信も行い、郷土資料の普及啓発を図りました。

英語多読資料を258点整備し（蔵書総数1,824点）、年間11,159点の貸出しがありました。また、英語村構想事業等のイベントにおいて、英語多読資料の紹介等を行い活用を図りました。